

令和8年度 杉戸町平和企画展

ジョー オダネル原爆写真展～トランクの中のヒロシマ・ナガサキ～ 開催

令和8年8月18日(火)から令和8年8月30日(日)まで、杉戸町生涯学習センター カルスタスとオープンギャラリーにおいて、ジョー オダネル写真展実行委員会のご協力の下、ジョー オダネル原爆写真展 ～トランクの中のヒロシマ・ナガサキ～を開催いたしました。

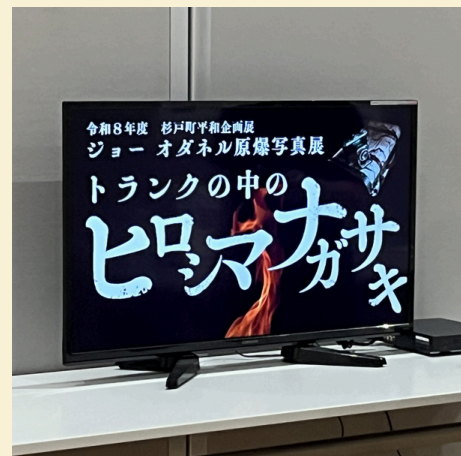
ジョー オダネル氏は、1945年に占領軍のカメラマンとして、原爆投下直後の広島・長崎ほか空襲による日本の被災状況を記録する任務を与えられ、7カ月のあいだ焦土と化した国内各地を、日本で手に入れた私用のカメラで約300枚撮影しました。しかし、帰国後に戦争のいまわしい記憶とともに密かに持ち帰ったネガをトランクに封印。約50年の時を経て、「核兵器の恐怖と平和の大切さを伝えなければならない」という強い思いから写真を公開し、世界各地で展示・講演を行いました。

本展では、亡くなった弟を背負い唇をかみしめ直立不動の姿勢で火葬の順番を待つ少年を撮影した「焼き場に立つ少年」等、約60点の写真を展示しました。来場された方々は、写真に添えられたオダネル氏のコメントにじっくり目を通しながら、当時の悲惨な状況に思いを馳せました。

杉戸町平和企画展は、様々な視点から戦争の悲惨さや平和の尊さを考える場となるよう、毎年テーマを変えて開催しています。今回は、終戦直後の日本で出会った人々、荒涼とした被爆地、被爆者たちの苦しみといった真実の記録であるオダネル氏の作品を通して、改めて戦争によって引き起こされる影響、そして、いかに平和が尊いものなのかを考えていただく機会として企画しました。

共催：杉戸町 杉戸町教育委員会 杉戸町国際交流協会 杉戸町立図書館

協力：ジョー オダネル写真展実行委員会 昌平中学・高等学校 県立杉戸高等学校



令和8年度杉戸町平和企画展

ジョー・オダネル原爆写真展

トランクの中の

ヒロシマナガサキ



焦土のヒロシマ・ナガサキに若い米軍カメラマンが降り立った

私用のカメラで撮影した300枚のネガを密かに持って帰国した彼は

戦争のいまわしい記録と一緒にトランクにしまい込み封印した

50年の時を経て開かれたトランクの中の写真は・・・

いま私たちに何を問うのか？

ジョー・オダネル氏 撮影「焼き場に立つ少年」

日時：令和8年8月18日(火)～8月30日(日)

9：00～21：00 (月曜休館日)

場所：カルスタすぎと オープンギャラリー

入場無料

お問合せ：0480-36-1470 杉戸町国際交流協会

0480-31-2111 カルスタすぎと

共催：杉戸町 杉戸町教育委員会 杉戸町国際交流協会 杉戸町立図書館

協力：ジョー オダネル写真展実行委員会 昌平中学・高等学校 県立杉戸高等学校

令和８年度 杉戸町平和企画展
ジョー オダネル原爆写真展～トランクの中のヒロシマ・ナガサキ～
来場者アンケート 集計結果

【平和企画展】

開催期間：令和８年８月１８日（火）～８月３０日（日） ９時～２１時
（８月２４日（月）休館日をのぞく）

開催場所：生涯学習センター カルスタすぎと オープンギャラリー

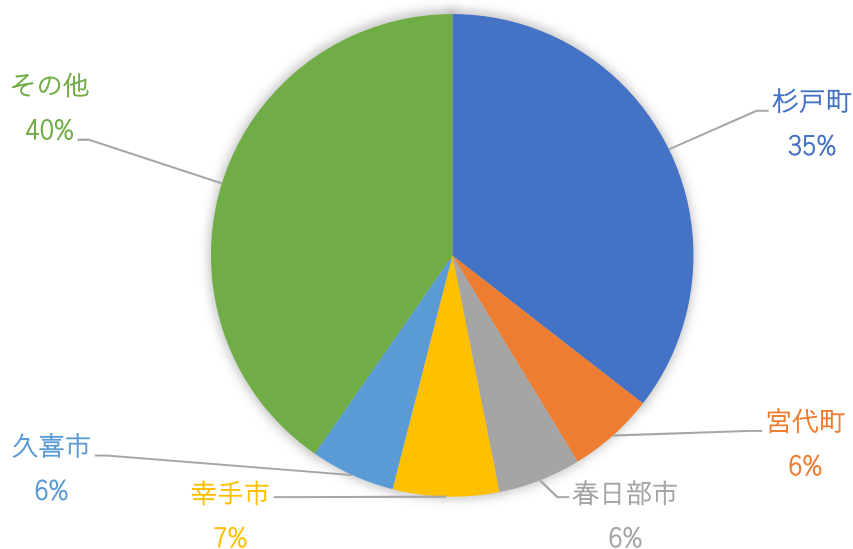
【アンケート】

回収数：８３１（用紙 ８０３ 枚、オンライン ２８ 件）

質問項目：

- １．お住まいの市町村はどちらですか？
- ２．あなたの年齢（年代）は？
- ３．企画展の開催を知ったきっかけは何ですか？（複数回答可）
- ４．どなたとご来場されましたか？
- ５．企画・展示の内容はいかがでしたか？
- ６．とくに印象に残った写真はありましたか？（自由記述）
- ７．今後、平和企画展で取り上げてほしいテーマはありますか？（自由記述）
- ８．その他、今回の平和企画展をご覧になった感想・意見等がありましたらご記入ください。（自由記述）

1.お住まいの市町村はどちらですか？



その他

【埼玉県】上尾市、朝霞市、伊奈町、入間市、桶川市、加須市、川口市、川越市、北本市、行田市、熊谷市、鴻巣市、越谷市、さいたま市、坂戸市、狭山市、志木市、白岡市、草加市、鶴ヶ島市、所沢市、戸田市、新座市、蓮田市、羽生市、飯能市、東松山市、ふじみ野市、松伏町、三郷市、美里町、八潮市、寄居町

【栃木県】足利市、宇都宮市、小山市、栃木市、那須塩原市、日光市

【茨城県】小山市、五霞町、境町、下妻市、常総市、つくば市、土浦市、水戸市、守谷市、龍ヶ崎市

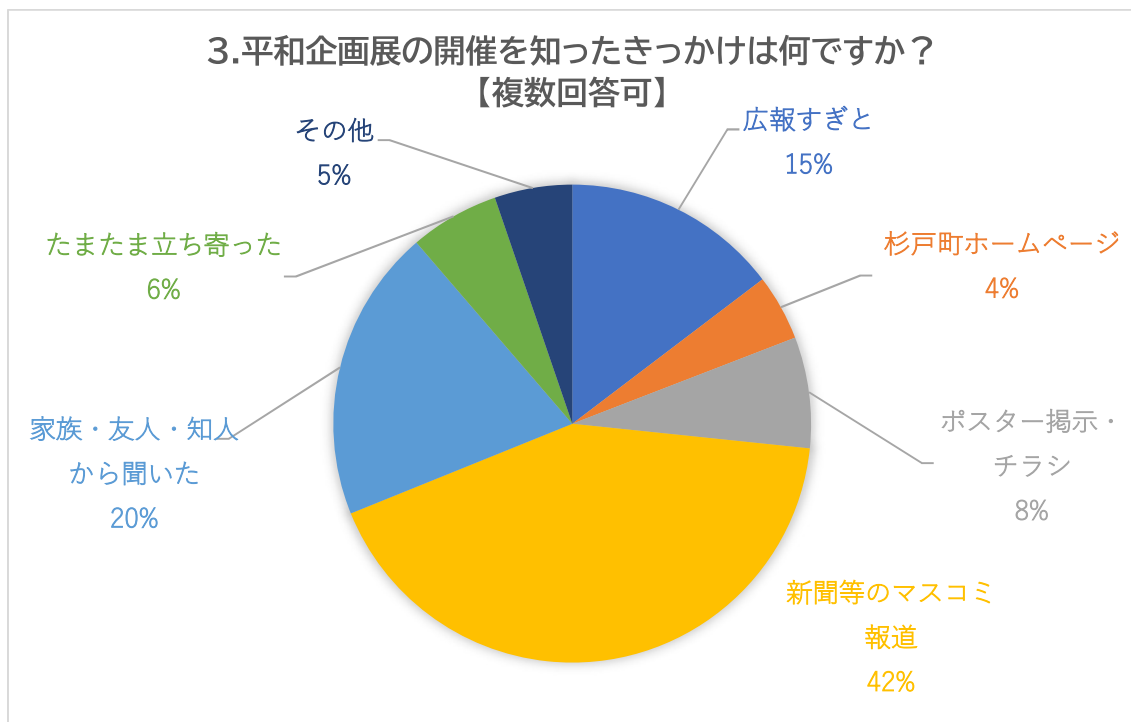
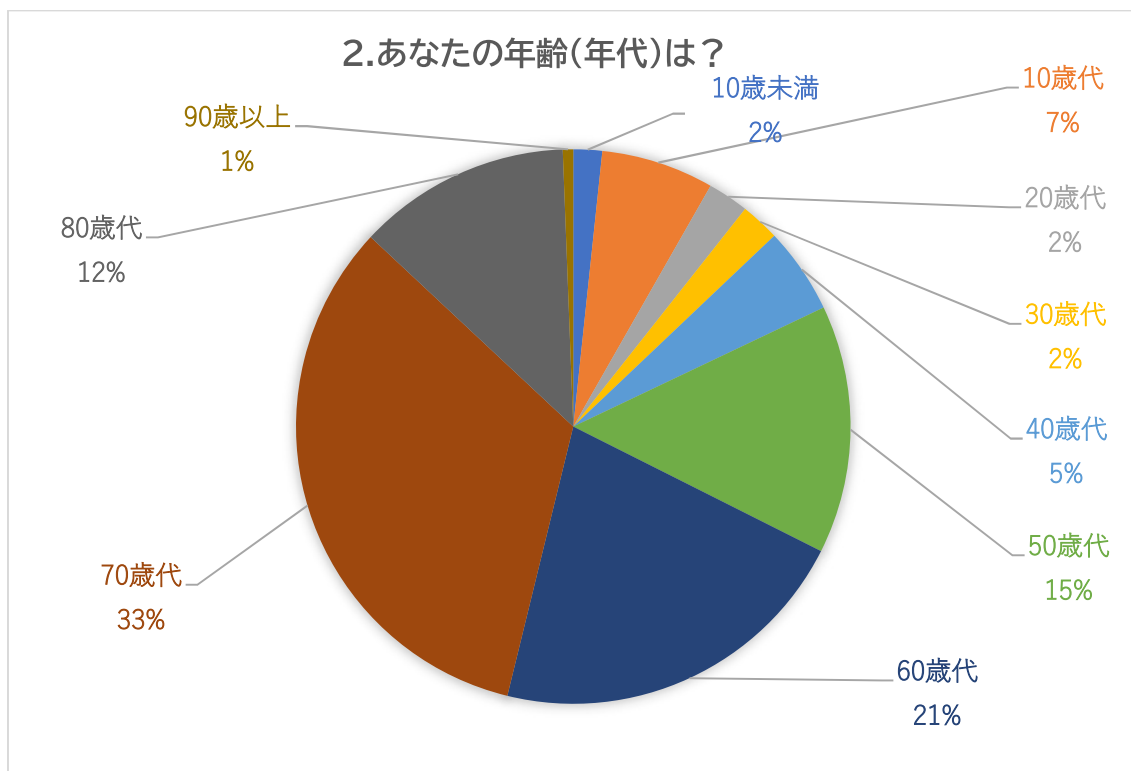
【群馬県】太田市、桐生市、富岡市、藤岡市、みどり市、明和町

【東京都】足立区、荒川区、板橋区、大田区、葛飾区、北区、江東区、小平市、品川区、新宿区、杉並区、墨田区、世田谷区、立川市、多摩市、豊島区、練馬区、八王子市、東村山市、日野市、府中市、福生市、文京区、武蔵野市

【千葉県】市川市、柏市、千葉市、流山市、野田市、松戸市、茂原市

【神奈川県】川崎市、相模原市、逗子市、藤沢市、横浜市

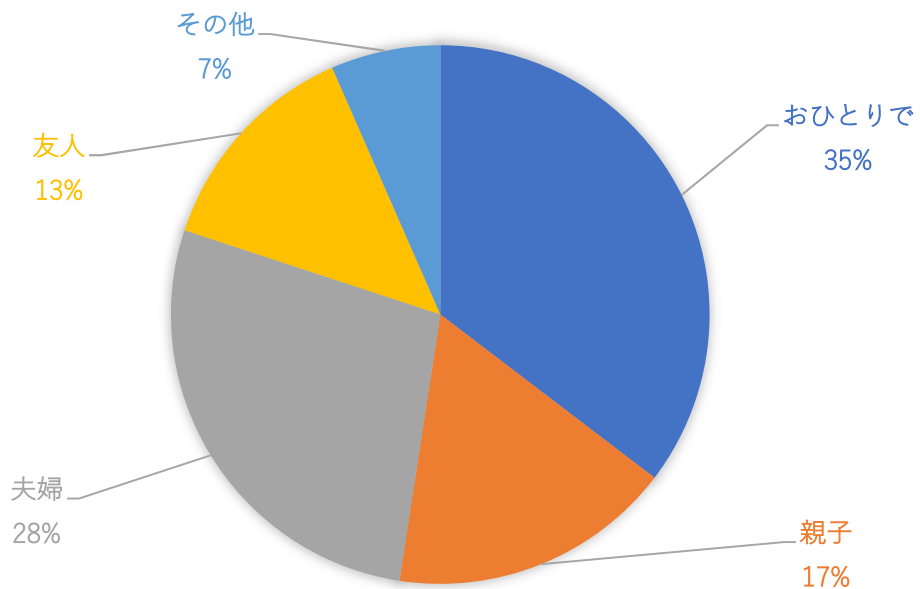
【海外】アメリカ・オレゴン州



その他

SNS、学校の紹介、ネットニュース、焼き場に立つ少年を検索 等

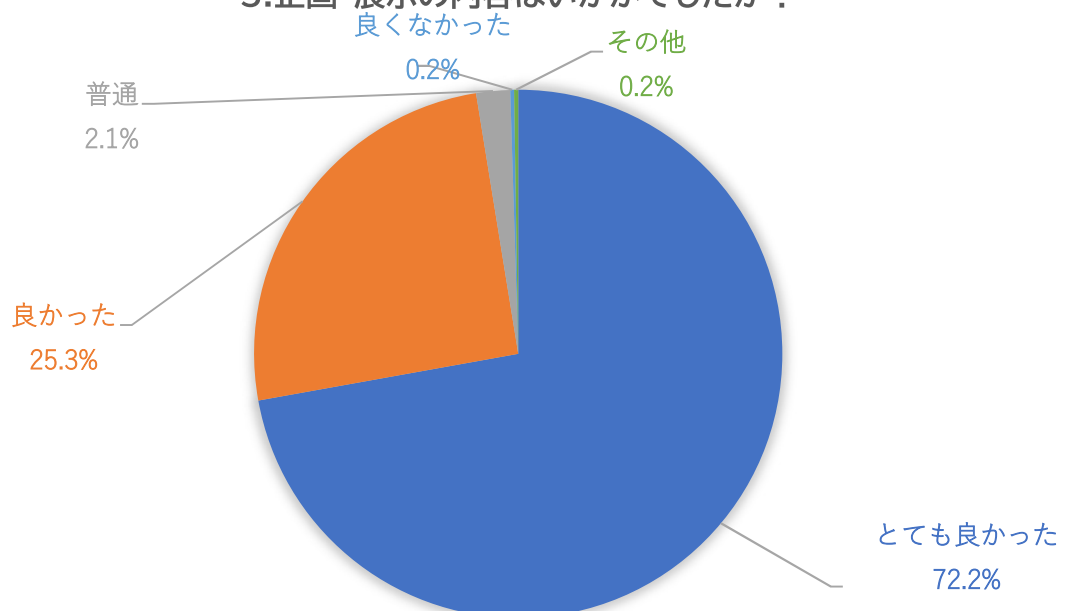
4.どなたとご来場されましたか？



その他

教え子、恩師、きょうだい、親戚、祖父母、同僚、部活の部員、孫 等

5.企画・展示の内容はいかがでしたか？



6. とくに印象に残った写真はありましたか？（抜粋）

- やはり“焼き場に立つ少年”どんな思いで待っていたのか？心ぐるしい思いです。（80歳代）
- 焼き場で待つ少年、子供と一緒にみて、戦争のおそろしさ、平和の大切さについて考えることが出来ました。ありがとうございます。（30歳代）
- すべての写真ですが、やはり「焼き場に立つ少年」と、背中に無数の傷の谷口さん、七五三の晴れ着の耳の聞こえない少女が心に残りました。（60歳代）
- やけどをおった少年の写真を見てもう二度と戦意を持たないことを願う。（70歳代）
- 着飾った少女の写真。爆撃機によって耳が聞こえなくなるという話を初めて知り、驚いたため。（20歳代）
- 広島・長崎で撮られた子どもたちの写真 建物や風景の写真は記録としてよく目にしますが、子どもたちを見ることでより、当時の生活や状況を深く感じました。（40歳代）
- 乳母車に2人の弟妹を乗せた兄、説明文にある、カメラマンがあげたりんごを3人で分けて食べていた所 学校（教室）の風景、一心不乱の集中力、敗けても強い精神力が感じられる。（70歳代）
- 小学校の授業風景（米国人写真家を完全に無視する空気感）（70歳代）
- 鼻をつく臭い（女性3人が焼き場からの臭いをがまんできず、口をおおっている）リアル（60歳代）
- 日本人とアメリカ人の靴が一行にならんでいた写真（10歳代）
- 「偽の大砲」こんなおろかな事もしていたのかと思いました（60歳代）
- ステンドグラスだけがきれいに残った教会の写真が大変印象的でした。（50歳代）
- マッカーサーとトルーマンの会話とその時のオダネルの言葉（70歳代）
- 原爆投下を決定した大統領の写真。こんなにも優しい雰囲気の人が決定したのかという衝撃と、日本人との表情の違いが印象的でした。（10歳代）

7. 今後、平和企画展で取り上げてほしいテーマはありますか？（抜粋）

- 自然災害について
- 自然（自然破壊や絶滅危機の動物）
- どうしたら温暖化をくい止められるか
- 広島、長崎の被爆の方の話
- 戦争中の手紙等と、今続いている戦争地域から発信される人々の想い
- 戦時中の一般市民の生活とは？
- なぜアメリカとの戦争をする決断をしたのか、その過程
- 戦争に向かっていった時代の日本と現在の戦争（明治～昭和～現在）
- 昭和初期から終戦までの人々の暮らしの変化など
- 杉戸町内にある慰霊碑の歴史について
- 平和について、戦中・戦後の学校教育の変遷など
- ジョー オダネル展の第2弾
- 戦火の子供の写真
- 特攻隊
- ひめゆり学徒隊
- 丸木夫妻、丸木美術館
- 無言館の展示物
- 長崎の原爆で負傷者の治療に尽力した永井隆医師
- 朝鮮戦争、ベトナム戦争、アフガニスタン戦争
- 風船爆弾（小川町など）
- 第2次大戦後の核兵器について（ビキニ事件など）
- 沖縄の対馬丸
- ホロコースト
- 731部隊
- 南方作戦
- シベリア抑留
- イラン・ガザ・ウクライナの状況
- アフガニスタンの女性
- 中村哲さんとタリバン
- 戦争が何故なくならないかの考察
- 国際連盟と平和
- 与謝野晶子

8. その他、今回の平和企画展をご覧になった感想・意見等がありましたらご記入ください。(抜粋)

●せんそうやめてほしい(10歳未満)

●戦争、平和について考えることができてよかった。半年前、長崎を訪れ、原爆や戦争について興味があり、今回再びこのような展示を見ることができてうれしかった。(10歳代)

●戦争で受けた傷は生涯治ることがないと改めてわかった。戦争を防ぐことが何より大切なことなんだと再確認できた。(10歳代)

●コンプライアンスなどでクレームが多く、こういった企画展を見ることは少なくなってしまったが、人間として知ることは大切だと思うのでもっとやってほしい。今回は取り上げてくださりありがとうございます。(20歳代)

●今まで目にする機会がなかった写真を見て、広島・長崎の原爆、そして戦争について知ることができました。1つ1つの写真に深い意味があり戦争当時の状況についてとても悲惨なことであったと心が苦しくなる思いでした。写真を通してですが戦争の場面を見ることができてよかったです。ありがとうございました。(20歳代)

●写真だけでなく説明文を読んで、アメリカ側の視点、アメリカ人として当時の日本の見え方がわかったのは、今までと違う視点を持つことができた。(30歳代)

●子供たちにも、恐がらず…平和の大切さについて伝えられるかみしばい会?何か戦争についてのお話し会があれば参加してみたいです。(30歳代)

●戦争は、全てを破壊する。オダネルの写真は、核兵器の恐ろしさのみならず、人間のおぞましさを、まざまざと見せつけ、問いかけて、考えさせてくれた。繰り返してはいけない歴史もある。深く心に刺さる言葉だ。(40歳代)

●なかなか広島長崎へ子連れで行くこともむずかしく、こうした資料に子どもと触れる機会がなかったのでとても良かったです。(40歳代)

●教科書で見た一ページが、自分事のように、戦争をよく考える機会を与えてくれました。息子と見れて良かったと思いました。ありがとうございました。(50歳代)

●原爆の惨状が、被爆者を直接写していなくても雄弁に伝わって来ました。来場して良かったです。多くの人に見てもらいたい。(50歳代)

●杉戸町は高校生をまきこんで、毎年平和企画展をされていて素晴らしいと思いました。また来年も来たいと思います。ありがとうございました。(50歳代)

●歴史を物語っており、永久に平和が続くことを強く感じました。未来を背追う子ども達に見てほしいです。この写真展、学校でもできないものかと思いました。企画運営された方々大変有難うございました。(60歳代)

●今まで写真だけではわからなかったことがオダネル氏の言葉でより理解することができました。“人”として生きることの大切さを改めて思い知る機会になりました。素てきな企画をありがとうございました。(60歳代)

●なかなか見ることのできないオダネル氏の生の写真は一枚一枚が史実でありました。そこに付されている氏の思いは氏の人柄を思わせ、ファインダーを通した平和への思いが素晴らしい。(70歳代)

●死んだ弟を背負った写真はこれまでも何回か見たが、間近でよく見ると少年が歯を食いしばり、必死で感情を抑えていることがよく分かった。あらためて戦争のむごたらしさ、おろかさを痛感しました。よく、これだけの写真を展示できたと感動しています。(70歳代)

●カメラマンが50年の時を経て、写真を公開してくれて良かったと思いました。広島も長崎も訪れましたが、被爆数日の様子がよくわかりました。ありがとうございました。写真に日付、時間がわかったらもっと良かったけど、当時はそれは難しい事だったのでしょね。(70歳代)

●子供や孫たちにも知ってもらいたいと冊子を購入させてもらいました。戦争の体験がない私たちは、このような展示を通して、子どもたちに伝えたいと思います。(80歳代)

●とても良かった、でもみていてつらかったです。長崎の原ばくは、地元の鹿児島島の島からみたよ～とかきいていて、被爆者の方も身近でいらして、こんな企画をして下さったことに涙と共に感謝の気持ちです。ありがとうございます。(80歳代)

●このような企画は全日本の各地で知らせ、日本人の誤もあったことを反省させたい。(90才以上)